

出雲市地域公共交通計画アクションプラン
令和6年度実施報告について

施策 1 地域と地域をつなぐネットワークの強化

施策 1-1 幹線・支線の明確化と確保・維持

通勤・通学や観光利用等が見込まれる広域幹線および準幹線について、利用促進を強化しながらそのサービスレベルを維持し、持続可能な運行を目指します。

【事業の実施主体】

出雲市・交通事業者・地域住民

【計画の概要】

広域幹線の確保、維持については、地域公共交通確保維持事業（幹線補助）を活用し、確保、維持の取組を進めます。

他の広域幹線、準幹線、支線については、公共交通計画にかかげる他の施策を実施することで、路線の確保、維持の取組を進めます。

【実施報告】

本協議会において、広域幹線である一畑バス大社線・須佐線の地域公共交通確保維持事業（幹線補助）について協議を行いました。

また、他の広域幹線、準幹線、支線については施策 8 の利用促進策の実施により路線の確保・維持の取組を行いました。

施策1 地域と地域をつなぐネットワークの強化

施策1-2 幹線・支線の見直し基準の設定

【事業の実施主体】

出雲市・地域住民

【計画の概要】

令和6年度（令和5年10月～令和6年9月）の利用状況により、幹線、支線の見直し基準の評価を行います。

見直し基準に該当した場合、「見直し対象路線」として住民への周知・意見交換等を行いながら、減便やダイヤ改正などの現行サービス内容の見直しや、定路線から乗合タクシー等に移行するといった運行形態の見直しなどを検討します。

【実施報告】

令和6年度（令和5年10月～令和6年9月）の状況は次表のとおり

区分	路線名	基準①1便あたりの利用者数		基準②利用者1人あたりの経常損失		見直しの要否
		基準値	実績値	基準値	実績値	
広域幹線 (バス)	大社線	5.0人未満	15.3人	500円以上	31円	
	日御碕線	5.0人未満	9.1人	500円以上	315円	
	須佐線	5.0人未満	3.0人	500円以上	3,164円	要
準幹線 (バス)	三刀屋出雲線	5.0人未満	2.7人	500円以上	1,262円	要
	小田線	5.0人未満	13.2人	500円以上	426円	
支線	大寺線	2.0人未満	2.6人	3,000円以上	1,169円	
	根波線	2.0人未満	1.3人	3,000円以上	2,399円	
	外園線	2.0人未満	2.2人	3,000円以上	1,186円	
	平成温泉線（江南線）	2.0人未満	1.2人	3,000円以上	1,768円	
	島村線	2.0人未満	4.7人	3,000円以上	562円	
	鹿園寺線	2.0人未満	1.8人	3,000円以上	1,676円	
	一畑薬師線	2.0人未満	0.4人	3,000円以上	2,563円	
支線 (過疎辺地)	うさぎ線	2.0人未満	1.2人	4,000円以上	3,708円	
	地合線	2.0人未満	3.7人	4,000円以上	822円	
	坂浦線	2.0人未満	2.2人	4,000円以上	848円	
	塩津線	2.0人未満	0.9人	4,000円以上	3,341円	
	北浜線	2.0人未満	1.4人	4,000円以上	2,184円	
	鱈淵線	2.0人未満	1.7人	4,000円以上	1,808円	
	猪目線	2.0人未満	1.0人	4,000円以上	3,070円	
	富山線	2.0人未満	0.9人	4,000円以上	3,181円	
	蔵谷線	2.0人未満	1.2人	4,000円以上	2,118円	

施策1 地域と地域をつなぐネットワークの強化

施策1-3 鉄道の利用促進強化（その1）

鉄道の利用促進のため、乗り方教室を実施し、住民の利用機会の増加を目指します。

1. JR乗り方教室の実施
2. 一畑電車乗り方教室の実施

【事業の実施主体】

出雲市・JR・一畑電車・地域住民

【計画の概要】

市内の小学生とその保護者を対象に、乗車券の購入方法やマナー等についての座学を実施した後、実際に切符を購入し、列車に乗車します。

【実施報告】

1. JR乗り方教室の実施

開催日時：令和6年8月25日（日）13時～16時10分

参加者：小学生とその保護者8組19名

内容：座学（鉄道について、切符の買い方と電車の乗り方について等）、切符の購入、JR乗車（出雲市駅⇒出雲神西駅）、後藤総合車両所出雲支所見学（やくも号記念撮影、車内見学等）、記念品配布、参加者からJR職員へお礼の手紙作成



2. 一畑電車乗り方教室の実施

開催日時：令和6年9月22日（日）10時～12時30分

参加者：小学生とその保護者4組9名（うち1組当日欠席）

内容：座学（一畑電車の歴史、乗り方について等）

一畑電車乗車（電鉄出雲市駅⇒出雲大社前駅、出雲大社前駅の説明、日本最古級の電車「デハニ50形52号車」について）、記念品配布



施策1 地域と地域をつなぐネットワークの強化

施策1-3 鉄道の利用促進強化（その2）

鉄道の利用促進に取り組み、住民の利用機会の増加を目指します。

【事業の実施主体】

JR西日本・地域住民

【計画の概要】

- (1) IT、ICの促進
- (2) 273系新型やくも号の利用促進

【実施報告】

(1) IT、ICの促進

① JR西日本「WESTER」アプリの浸透に向けたご利用促進の取り組み

■ ご利用しやすい鉄道を目指す

時刻表検索

リアルタイムな運行情報提供

■ お待たせしない鉄道サービスを向上させる

ネット予約(e5489)の推進

モバイルICOCAの利用促進

② JR西日本「tabiwa」アプリの浸透に向けたご利用促進の取り組み

■ 観光誘客促進と tabiwa 周遊パス・チケット購入でエリア内交通の利用を促進させる

観光周遊パスの増売でエリア内交通の利用促進

(2) 273系新型やくも号の利用促進

■ 駅、イベント等を活用した告知強化により利用を促進させる

273系新型やくも号の告知継続による利用促進

施策1 地域と地域をつなぐネットワークの強化

施策1-3 鉄道の利用促進強化（その3）

鉄道の利用促進に取り組み、住民の利用機会の増加を目指します。

【事業の実施主体】

一畑電車・地域住民

【計画の概要】

- (1)利便性の向上
- (2)定期券対策
- (3)各種イベント開催

【実施報告】

(1)利便性の向上

- ①令和6年4月1日ダイヤ改正実施
- ②松江水郷祭（8/3・4）、いずも神話まつり花火大会（8/17）に伴う臨時列車運行
- ③出雲大社神迎祭御奉仕期間の臨時列車運行（11/10・16・17）と多客対応
- ④正月特別ダイヤ運行（1/1～3）

(2)定期券対策

- ①令和6年4月1日ダイヤ改正実施
- ②定期券購入キャンペーンの実施（例年3月中旬～4月末）
令和6～7年度は3/22～4/27 購入者への粗品進呈
- ③沿線企業訪問
出雲市内事業所 過去4事業所訪問（出雲地区昨年度同数）
- ④新入生向け定期券の入学式出張販売
出雲市内高等学校6校
R6年度:113枚/3,476,880円(R5年度:87枚[129.9%]/2,753,300円[126.3%])

(3)各種イベントの開催

- ①ビール電車「酔電」の運行（6月中旬～8月）
17本運行 320名乗車
- ②おでん電車の運行（11月～1月）
20本運行 393名乗車（一部令和5年度3月実施分を含む）
- ③保育園・幼稚園向け絵本読み聞かせ企画「一畑電車に乗ろう」

計画どおり 20 施設の申し込みを受けて運行

- ④子供向け体験運転「一畑電車お仕事体験」イベントの開催
(5/13・14 開催 11/2 は荒天中止)
- ⑤ハロウィン (10 月) ・クリスマス (12 月) 各時期の車内装飾実施
- ⑥松江市交通局・一畑バスとの共催「小学生運賃無料イベント」の開催
(9/14～11/4 の間の土日祝日 計 20 日)
- ⑦一畑電車駅サイトまっりの開催 (10/20)
- ⑧『プレミアム体験運転』(営業車両を用いた体験運転)の平年開催、
及び年度下期より実施日程を 2 日間、参加費も増額を図り実施
- ⑨『こだわり体験運転』(営業線松江しんじ湖温泉駅構内運転)の実施
(9/21 より一般募集者による開催)
- ⑩新型車両デビューイベント実施 (3/9 出発式)
及び引退車両さよならイベントの実施 (1/11～13 3 日間連続イベント)
- ⑪他事業者との共催イベントの実施
『シマネジェットフェス 2024』 (10/12)
『縁縁出雲』 (11/23 及び 1/25・26)

施策２ 中心市街地形成エリアの利便性向上

中心市街地形成エリアは、特に公共交通の利便性を高めるエリアとして設定し、現路線の見直しや、ダイヤ等を検討し、エリア内の利便性向上を図るとともに、収支率を改善するための計画を策定します。

【事業の実施主体】

出雲市・交通事業者

【計画の概要】

地域公共交通利便増進事業（国庫補助金）を活用し「出雲市中心市街地形成エリア利便増進計画」を策定します。

策定にあたってはコンサルタント業者へ調査・分析等の業務を委託します。

【実施報告】

令和6年 7月11日～バス利用者アンケート実施

8月18日～主要施設でのアンケート実施

令和6年 9月24日 交通事業者と協議

27日 交通事業者と協議

11月 1日 第3回出雲市地域公共交通活性化協議会にて協議

12月 3日 交通事業者と協議

12日 島根運輸支局へ利便増進計画の記載内容の確認

26日 第4回出雲市地域公共交通活性化協議会にて協議

令和7年 2月 5日 交通事業者2者と協議

<業務委託先>

株式会社バイタルリード

<委託期間>

令和6年6月6日～令和7年3月31日

施策3 高齢者が利用しやすい新たな地域内交通の導入 施策9 中山間地域のまちづくりと連携した取組の推進

路線バスが利用しにくい中山間地域の高齢者等に配慮した、利便性が高いドアツードアの定額乗合交通の実証運行を、佐田地域で昨年度に引き続き実施します。

実証運行の成果を分析し、本格運行に向け検討を行います。

また、他地域への定額乗合交通の展開についても検討します。

【事業の実施主体】

出雲市・交通事業者・地域住民

【計画の概要】

令和6年7月 佐田地域での本格運行可否について決定

9月 佐田地域での本格運行開始

【実施報告】

令和6年9月1日 佐田地域において本格運行開始

愛称を定額乗り放題交通「さだ縁結び号」とする

<登録者数> 62人（令和7年3月末日時点）

<延べ利用者数> 1,972人

<運行日数> 283日

【参考：さだ縁結び号の運行概要】

運行日：毎日（8/13～8/16及び12/29～1/3を除く）

運行時間：8：30～17：00

運賃：1か月乗り放題 3,300円/人

※障がい者・小学生以下、同じ月に同じ世帯内で利用する場合の2人目は半額

利用の都度支払う場合は、1乗車 700円/人

※障がい者・小学生以下は半額

施策4 交通結節点や主要施設等の待合環境の整備

<主要施設における待合スペースの確保の検討（出雲市）>

主要なバス停留所の待合スペースについて現状把握を行いました。

施策5 わかりやすい時刻表やマップの作成と多言語化

<ホームページの多言語化（出雲市）>

サービス内容の変更に合わせ、データを更新しました。

<出雲市駅のサイネージの多言語化（一畑バス）>

サービス内容の変更に合わせ、データを更新しました。

施策6 通勤・通学のしやすい環境づくり

<通勤・通学定期券の販売促進（一畑電車）>

※施策1－3 鉄道の利用促進強化において記載のため省略

<一畑口駅、雲州平田駅、川跡駅、出雲大社前駅、大津町駅におけるパークアンドライド用駐車場の維持・確保（一畑電車）>

パークアンドライド用の駐車場について維持管理を行いました。

大津町駅の駐車場についてはアスファルト舗装を実施し、区画整理を行い、駐車スペースが約2倍になりました。

施策8 ターゲットに即したモビリティ・マネジメントの推進

<鉄道事業者による各種利用促進策（交通事業者）>

※施策1－3 鉄道の利用促進強化において記載のため省略

<バス事業者による乗り方教室（交通事業者）>

5月19日に第20回公共交通利用体験ツアー（一畑バス(株)出雲営業所にて）を実施しました。

<出雲大社周辺等を訪れる観光客に対する情報提供、モビリティマネジメント（出雲市）>

国の補助金「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」を活用し、渋滞対策に関する情報発信（WEBサイト）「出雲大社周辺駐車場・交通情報ガイド」を構築しました。（サイトオープン日：令和6年10月24日）

【WEBサイトの目的、概要】

- ・混雑予報等に関する情報発信を強化し、旅行日程の分散化を図る。
- ・駐車場情報やGoogleMapの交通情報のリアルタイム反映。
- ・シャトルバスの運行や一畑電車を利用したパーク&ライドなど公共交通の利用を促進するための広報ツールとして活用。
- ・交通規制等、多客日の渋滞対策強化の取組みの発信。

施策 10 公共交通への担い手不足への対応（その1）

【事業の実施主体】

出雲市・島根県旅客自動車協会

【計画の概要】

<出雲市>

令和6年度から新規事業「バス・タクシー運転手確保支援事業」を実施

<島根県旅客自動車協会>

バス及びタクシー業界への入職を促進するための広報活動等

【実施報告】

<出雲市>

- ① 合同企業説明会への参加旅費助成… 2件
- ② 就労体験事業への参加旅費助成… 2人（就労体験参加は3人）
- ③ 二種免許取得費助成… 6件（計60万円助成）
- ④ SNS（Instagram・LINE）を活用した運転手確保プロモーション
 Instagram… 配信回数21回、再生回数計75.8万回
 動画視聴をきっかけとした運転手採用2人、運転手職業体験ツアーへの6人の応募、観光タクシーの予約 など
 LINE… LINE ヤフー社と出雲市のパートナーシップ契約締結により「オープンチャット」実施。1,500人参加
- ⑤ バス運転体験会&バス・タクシー就業フェア（松江市と共催）
 20人参加のうち5人が運転手としての採用につながった

《就業体験ツアー》

《バス運転体験会&バス・タクシー就業フェア》



施策 10 公共交通の担い手不足への対応（その2）

運転手不足を一因としたバス路線の廃止、減便の表明が相次ぐ厳しい現状を踏まえ、人材確保・育成に取り組む事業者に対する特別支援を実施します。

【事業の実施主体】

島根県

【計画の概要】

- ・新たに人材確保を行った事業者が行う、人材育成に対する支援金を交付
- ・新規雇用者1人あたり定額20万円
 1. 対象事業者
 - ・路線バス運行事業者
 - ・市町村からコミュニティバス等の運行を受託する事業者
 - ※県内に本社又は営業所を有する事業者
 - ※道路運送法第4条の許可（乗合・貸切・乗用のいずれか）を受ける事業者
 2. 支給要件
 - ・R6.4.1～R7.3.31において、新たに運転手（見込）を採用
 - ・6か月以上継続して雇用し、かつ、県内の本社又は営業所で勤務
 - ・なお、対象者の雇用前の居住地が県内である場合、雇用された日時点において、普通自動車第二種免許及び大型自動車第二種免許（以下、「二種免許」という。）を有していないこと。ただし、雇用を前提として、雇用前に申請者の負担により、対象者が二種免許を取得した場合はこの限りではない。

【令和6年度実績】

14事業者44人分の活用

（うち出雲市内の本社又は営業所に勤務する運転手分は、2事業者4人分）

施策10 公共交通の担い手不足への対応（その3）

施策13 公共交通によるおもてなし

施策13-2 観光客や帰省客などの利用も見据えた公共交通サービスの検討

出雲の中山間地域を走り、観光と地域を支え、仲間を呼び寄せる「観光地ドライバー」（地域おこし協力隊員）を募集します。

【事業の実施主体】

出雲市・交通事業者

【計画の概要】

国の企業連携型「地域おこし協力隊」制度を活用して、観光地のドライバーとして出雲の魅力的な中山間地域への周遊観光の活性化に取り組む人材を募集し、地域課題の解決に取り組む企業が雇用、活動を行います。

【実施報告】

令和6年5月10日～7月12日	募集（1人応募）
7月17日～7月19日	書類審査
8月19日～8月21日	体験プログラム
8月21日	面接試験
10月1日	地域おこし協力隊委嘱（1人）

有限会社出雲観光タクシーにおいて、観光地ドライバーとして運転・ガイド業務に従事しつつ、運転手確保を目指すPRを始めました。

採用後に二種運転免許を取得し、社員教育による運転技術・ガイドスキルの向上及び中山間地域を中心とした観光知識の習得に励んでいます。

観光客を乗せるタクシーに加え、出雲大社周辺のエリアを走るグリーンスローモビリティも運転するなど、多様な観光のニーズにも対応できるようになっています。

また、業務車両が集まる地域のイベントに参加し、運転手業務をPRしました。

今後は、夕刻の日本遺産「日が沈む聖地出雲」を走る夕日タクシーへの乗務を予定しているほか、UIターンドライバーの獲得に向け、SNSの活用や就職フェア等への参加にも取り組んでいきます。

施策 1 1 スマホひとつで利用できる公共交通システムの構築

＜サービス変更に合わせてデータの整備・更新（出雲市・交通事業者）＞
ダイヤ変更等に合わせて、データの整備・更新を実施しました。

施策 1 2 公共交通車両の脱炭素化

＜出雲大社周辺地域におけるグリーンスローモビリティの導入に向けた実証運行＞
 （出雲市グリーンスローモビリティ運行協議会）＞

《実証運行期間》

令和 7 年 2 月 7 日～2 月 1 1 日（5 日間）

《運行ルート、停留所》



《乗降実績》

悪天候等の理由により、塗りつぶし部分は運休。

1 便あたり平均乗降者数：4. 5 人

	2月7日(金)	2月8日(土)	2月9日(日)	2月10日(月)	2月11日(火・祝)	合計
1便	2					2
2便	1					1
3便						0
4便		1	6	2	3	12
5便		3	6	4	6	19
6便	4	5	6	9	5	29
7便	3	7	8	4	7	29
8便		5	5	2	4	16
9便						0
10便						0
合計	10	21	31	21	25	108

《料金種別実績》

料金種別	1 乗車	2day パス	合計
料金	500 円	1,000 円	
利用実績	57 件	17 枚	
利用金額	28,500 円	17,000 円	45,500 円

＜車両のダウンサイジングの検討・導入（出雲市・交通事業者）＞

車両のダウンサイジングについて検討を行いました。

施策13 公共交通によるおもてなし

施策13-1 空港利用者の利便性向上

＜空港連絡バスのキャッシュレス化（車載端末の導入）（出雲一畑交通）＞

空港連絡バス車内においてクレジットカード決済用の端末を導入しました。

＜MaaSアプリ（JALMaaS）による空港連絡バスのデジタルチケット発行、購入者への特典付与（JAL・出雲一畑交通）＞

MaaSアプリにより空港連絡バスのデジタルチケット発行が可能となりました。また購入者への特典を付与しました。

施策13 公共交通によるおもてなし

施策13-2 観光客や帰省客などの利用も見据えた公共交通サービスの検討

須佐神社を参拝する交通手段として一畑バス須佐線を須佐神社まで延長します。

【事業の実施主体】

出雲市・交通事業者

【計画の概要】

令和7年度の須佐神社の遷宮を見据えて、一畑バス須佐線を須佐神社まで延長して運行します。

現在運行している14便の内、通勤、通学の時間帯を除く6便（3往復）を延長し、ダイヤを改正します。

【実施報告】

令和6年8月1日から須佐線を須佐神社まで延長して運行を開始しました。

《利用状況》

須佐神社前バス停乗降人数

単位：人

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
降車	91	149	166	213	111	92	61	107	990
乗車	75	130	127	226	97	84	59	87	885

施策13 公共交通によるおもてなし

施策13-2 観光客や帰省客などの利用も見据えた公共交通サービスの検討

＜出雲大社周辺地域におけるグリーンスローモビリティの導入に向けた実証運行
（出雲市グリーンスローモビリティ運行協議会）＞

※施策12 公共交通車両の脱炭素化 において記載のため省略

＜須佐線を須佐神社まで延伸（一畑バス）＞

須佐線を須佐神社まで延伸して運行しました。

＜多客日における臨時便の運行（一畑電車）＞

出雲大社神迎神事開催日に臨時便の運行を行いました。

＜電鉄出雲市駅から出雲大社前駅への直通便の運行（一畑電車）＞

観光客の利用が多い土曜日、日曜日について電鉄出雲市駅から出雲大社前駅までを直通便としました。

＜出雲周遊観光タクシー「うさぎ号」・出雲周遊観光バス「しんわ号」等の利用促進（出雲観光協会）＞

ホームページへの掲載及び観光資料を請求された方へチラシを同封し利用促進を行いました。

うさぎ号：公共交通機関のみを利用すると立ち寄りづらい観光スポットもコースに組み入れた出雲周遊観光タクシー
しんわ号：特に人気の観光スポットを厳選し、「うさぎ号」より安価にサービスを提供する出雲周遊観光バス

《利用状況》※速報値

出雲周遊観光タクシー「うさぎ号」	乗車人数：124人	運行台数：56台
出雲周遊観光バス「しんわ号」	乗車人数：743人	運行便数：80便

＜空港連絡バスのキャッシュレス化（車載端末の導入）（出雲一畑交通）＞

空港連絡バス車内においてクレジットカード決済用の端末を導入しました。